

看護職員 *Nursing Guidance Book 2025* ガイドンスブック 2025



- ① 熊本駅前バス停から第一環状線(左回り)に乗車、大学病院下車(所要時間約15分)
- ② 交通センターから八王子環状線、御幸木部線(バス)に乗車、大学病院下車(所要時間約15分)
- ③ 九州自動車道熊本インター出口国道57号線を熊本駅方面(産業道路)へ右折(所要時間約30分)
- ④ 熊本空港からリムジンバス熊本交通センター行きに乗車(所要時間約50分)交通センター下車
(公共機関をご利用の場合は②参照・タクシーに乗車した場合所要時間約10分)

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号

Tel.096-344-2111(代表)

<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp>

看護部公式
LINEアカウント



— 伝統と革新 —



こめた想いは
きっと人の心へ届く

あなたとつむぐ、 未来の看護

看護部長メッセージ Message

特定機能病院で求められる看護実践能力と しなやかな人間力を、一緒に磨きませんか？

特定機能病院の看護師として必要な看護実践能力を身につけると同時に、人として成長していくこともまた、とても大切に考えています。大学病院ならではの教育プログラムを積極的に活用して自己学習ができる人、組織の一員として自覚と責任ある行動をとれる人、同僚や他の医療従事者と丁寧なコミュニケーションを図れる人。そして、いつも相手を慮る心と、辛いことがあっても頑張り抜ける強い心を持った人……。私たちが理想とするそんな看護師を、あなたと一緒に目指していきませんか？技術や知識、環境など、新人の頃は不安があって当たり前です。看護部全体で皆さんの成長を応援していきます。ぜひ、私たちと一緒に看護師としても、人としても成長していきましょう。



看護部長 山本 治美

「尊い命を救いたい」「患者様の支えになりたい」「笑顔で元気を届けたい」

想いをこめた看護は、患者様とご家族、そしてあなた自身の未来を育みます。

人を想うあなたの心を大切に、未来を育む看護の形をつくっていくことを
私たちは目指しています。



Hospital introduction

高度な医療と看護を提供し優れた医療人を育成する、
250年以上の歴史を誇る、県内唯一の大学病院。



病院理念

本院は、高度な医療安全管理によって、
患者本位の医療を実践し、
医学の発展及び医療人の育成に努め、
地域の福祉と健康に貢献する。

基本方針

- ・高度な医療安全管理体制による安全安心で
質の高い医療サービスの提供
- ・患者の希望、期待、要求を尊重する医療の実践
- ・先進医療の開発・推進と優れた医療人の育成
- ・地域社会に貢献できる医療・防災の拠点形成
- ・理念達成のための健全な運営・経営の実践

当院は厚生労働省から特定機能病院の承認を得ているほか、都道府県
がん診療連携拠点病院、高次脳機能障害者支援拠点機関、熊本県基幹
型認知症疾患医療センター、肝疾患診療連携拠点病院などの指定を受

けています。さらにICU、CCU、NICU、GCU、MFICU、SCU、HCUの特
殊病棟60床の承認を得るなど、熊本県の医療をけん引する役割を担っ
ています。

病床数	一日の平均患者数(令和6年8月現在)	職員数(令和6年6月現在)
845 床	外来…1,448 名 入院…712 名	看護職…882 名 医師…629 名

診療科・部門				
・呼吸器内科 ・消化器内科 ・血液内科 ・膠原病内科 ・腎臓内科 ・糖尿病・代謝・内分泌内科 ・循環器内科 ・脳神経内科 ・心臓血管外科 ・呼吸器外科 ・消化器外科 ・乳腺・内分泌外科 ・小児外科 ・移植外科 ・泌尿器科	・婦人科 ・小児科 ・産科 ・整形外科 ・皮膚科 ・形成外科 ・眼科 ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ・歯科口腔外科 ・画像診断・治療科 ・放射線治療科 ・神経精神科 ・脳神経外科 ・麻酔科・緩和ケア ・総合診療科	・中央検査部 ・中央手術部 ・中央放射線部 ・集中治療部 ・中央材料部 ・リハビリテーション部 ・病理部 ・輸血・細胞治療部 ・救急部 ・感染免疫診療部 ・腎・血液浄化療法センター ・総合臨床研修センター ・光学医療診療部 ・臨床試験支援センター ・高度医療開発センター	・地域医療連携センター ・総合周産期母子医療センター ・がんセンター ・ME 機器センター ・地域医療支援センター ・移植医療センター ・災害医療教育研究センター ・肝疾患センター ・アミロイドーシス診療センター ・嚥下障害診療センター ・神経免疫疾患抗体測定センター ・心臓血管センター ・脳血管病センター ・生殖医療・がん連携センター ・神経難病センター	・総合臨床研究部 ・医療情報経営企画部 ・薬剤部 ・看護部 ・医療技術部 ・栄養管理部 ・医療の質・安全管理部 ・感染制御部 ・事務部

SCU

脳卒中ケアユニット

熊本県唯一の脳卒中集中ケアを
行う部署。急性期からリハビリ
期、さらに退院後の生活を見据え
た治療・ケアを専門医師や看護師
など、多職種で行っています。

NICU

新生児集中治療室

新生児医療に習熟した小児科医
と看護師が産科や小児外科と連
携し、ハイレベルな医療を提供。
赤ちゃんの命を救うと共に、赤
ちゃんに優しい環境の提供や母
乳育児の推進に取り組むなど、家
族の絆を大切にします。

ICU

集中治療室

当院は集中治療専門医認定施設
であるため、高度な治療を医療
チームで実践する環境を整備。
県内から近隣県までの方を対象
に、術後や救急の患者様の治療・
ケアを行っています。

MFICU

母体・胎児
集中治療室

重症妊婦高血圧症候群、前置胎
盤、胎児異常などハイリスク出産
のリスクが高い母体・胎児に対応
する部署。緊急時分娩や手術がで
きるように整備された個室を完
備し、妊婦褥婦の想いを尊重した
看護を実践します。

OPE

中央手術部

手術件数:8,163件/年間(※)。
手術支援ロボット・ダヴィンチや、
カテーテル治療と外科手術を組
み合わせた手術ができるハイブ
リッド手術室を有し、最先端の手術
医療を提供しています。

(※)R5.4.1～R6.3.31

Heliport

ヘリポート

中央診療棟屋上にヘリポートを
併設しており、“熊本型ヘリ救急
搬送体制”における基幹病院(4
病院)のひとつとして、2機のヘリ
による効率的な受け入れに対応。
搬送する患者様は県内だけでな
く、近隣県に及びます。



Nursing Division

命のすぐそばで、今日も心をこめて働く。
そんな人たちを温かく、力強く
見守る看護部を目指しています。



看護部理念

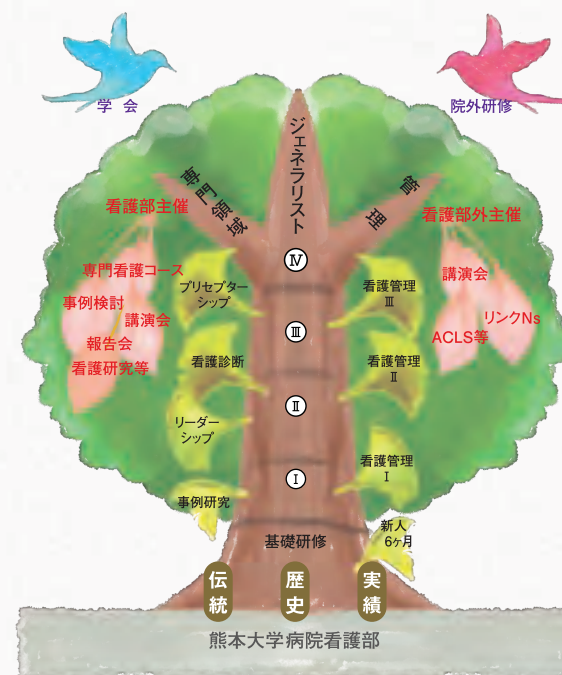
私たちは一人ひとりを尊重し、
安全安心で信頼される看護に
最善を尽くします

基本方針

- 高度な医療安全管理体制による質の高い看護の実践
- 患者の生活の視点に立った全人的看護の実践
- 専門職として常に研鑽を重ね、
仕事に自信と誇りを持った看護職の育成
- 多職種と協働するチーム医療の推進と
地域医療への貢献

看護部キャリア開発図

大学病院にふさわしい知識と技術を習得し、それぞれが目指す領域で活躍できるように支援する体制を整えております。キャリアに応じて求められるスキルを自分のペースで無理なく学び、ジェネラリスト、管理職、さまざまな専門領域へ高められることが特長です。



安全・安心な看護提供方式「PNS：パートナーシップ・ナーシング・システム」

看護師みんながベテランではないので、安全に、患者様に満足して頂ける医療を提供するため、パートナーと2人1組で業務を行う看護提供方式「パートナーシップ・ナーシング・システム」を取り入れています。重症の患者様も多く、治療方法も目覚ましい勢いで進歩する大学病院。チームを組んで、話し合い、確認しながら業務を行うことで仕事の質の向上にもつながっています。

間近で見える先輩の看護から、学ぶことがたくさん。

新人

野口 侑里
西病棟 6 階 (ICU)

●MOVIEで見る



分からないことがあればすぐに相談できるのは、PNSの大きなメリットです。看護をしていると「これは誰に聞こう?」という疑問が出る場面がありますが、まずはベアの先輩に相談できるのは、安心感につながっています。また先輩から「患者さんを任せることができた」と言ってもらえた時は素直にうれしく、不安だった自分の看護に自信が持てるようになりました。

先輩

古賀 傑
西病棟 6 階 (ICU)

●MOVIEで見る



新人の時に自分が感じていた先輩との壁を思い出し、どんなことでも話せるような関わりを意識しています。自分から後輩に声をかけ、笑顔で話したり冗談を交えて話したりとリラックスできる環境づくりを心掛けることで、仕事上のちょっとした引っ掛かりなども共有しやすく、報連相からの問題解決もスムーズとなり、結果として患者さんへよいケアを提供できていると思います。

状態が不安定な患者さんは、薬剤や医療機器を調整しながら、安定するようケアします。重症度の高い患者さんが多く緊張感のある部署ですが、出てきた問題はベアの先輩にすぐ確認できる恵まれた環境です。



最重症患者さんの解剖生理・病状をアセスメントした上で医師とコミュニケーションを図り、日常生活のケアや医師の処置助を安全かつ丁寧に実施。後輩に教えることが先輩の成長にもつながっています。



Education System

1年目も、キャリアを積んだ後も。
いつだってあなたの「なりたい」を応援する
教育プログラムを用意しています。

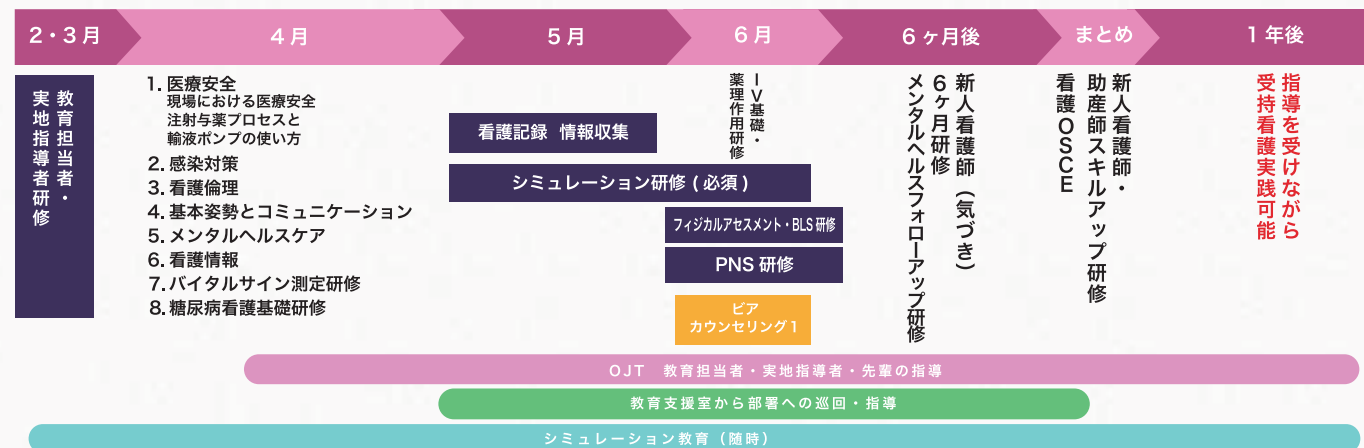
教育理念

一人一人の人権を尊重し、
信頼と安全安心な看護を提供できる
看護職を育成する

教育方針

1. 患者・家族の意思を尊重し支援できる看護職を育成する
2. 根拠に基づいた看護が提供できる看護職を育成する
3. 専門職として自律・自立し、責任と役割を自覚した行動がとれる看護職を育成する
4. クリニカルラダーと連動した教育を行い、看護実践能力を高め、さらにキャリア開発を支援する

新人看護師研修年間スケジュール



新人研修の紹介



フィジカルアセスメント 基礎研修

専門看護師や認定看護師による問診・視診・触診・聴診に必要な講義とバイタルサインの取り方とアセスメントができるようになるための研修です。



シミュレーション研修

患者にケアを実施する前にシミュレーターを用いて演習を行います。たくさんの手技獲得のための訓練が研修できます。研修後には、毎回、研修生同士で近況を話し合う時間を設けています。

クリニカルラダー

		LEVEL I	LEVEL II-1・II-2	LEVEL III	LEVEL IV・自主研修
		ガイドラインが必要	自分で考え行動できる	チームメンバーに指導できる	専門性を発揮する
職務目的		マニュアルや指導を受けながら看護を実践する	自ら自立し、主体的に看護を実践する	看護実践において役割モデルとなる	専門分野での役割モデルとなる
成果責任	臨床実践	指導を受けながら看護を提供する	患者の個別性に応じた看護を提供する	患者・家族の満足度の高い看護を提供する	看護実施において専門性を発揮する
	管理	組織の中の一員である事を自覚し行動する チームメンバーとしての役割を認識し活動に参加する	チームメンバーとして主体的に行動する	チームメンバーとともに組織づくりに参画する	課題を明確にし、管理行動がとれる
	教育	院内における教育プログラムに参加する	習熟度が未熟な看護師を指導する 院内外の教育プログラムに積極的に参加する 自己の課題を明確にする	チームメンバーを支援する 自己実現に向けての研修に参加する	看護単位における教育的役割をとる 専門分野における研修に参加する
	研究	看護研究に参加する	看護研究を計画し主体的に取り組む	臨床実践を裏付ける看護研修を行う	専門分野における研究・開発を行う

LEVEL II-1

自分で考え行動できる

先輩から学んだことを糧に、次は教える立場へ。

これまで指導やマニュアルのもと、先輩にフォローしてもらいながら看護業務を行っていたのに対し、ラダーII-1では自分で考えて主体的に行動することが求められます。特に所属するCCUでは重症度が高い患者さんによる緊迫した場面も多いため、複数の業務から緊急性・患者重症度・時間指定の有無など複数の事柄を考慮してケアスケジュールを立てることが重要になるので、患者さんの状態をアセスメントして、安全なケア方法を選択するよう常に気を張って業務にあたっています。また後輩や実習生へアドバイスをする機会も増えるため、先輩から教えてもらったことを実践しつつ、正確な知識や技術を伝達できるよう勉強の日々です。ラダー制度は今の立場の自分がどう動けばいいのかという指標になるので、目標も立てやすく仕事にやりがいを感じられます。

福田 千尋

東病棟 5 階（CCU）
2022 年入職

LEVEL II-2

自分で考え行動できる

年齢とともにキャリアアップを目指せる環境。

ラダーII-2になったことで、リーダーとして全体を見て多職種と連携をとったり後輩に指導を行ったりするほか、委員会の活動を通して病棟運営にも関わるなど、業務の幅が広がりました。今はまだリーダー業務に追われることが多いですが、全体を見る視野を養い、先回りしてフォローできるよう自分にあったやり方を見つけていきたいです。またこれまで先輩に育ててもらった分、自分も後輩を育てたいという思いも強くなり、来年度はプリセプターになることを目標にしています。今後は先輩の指導方法や後輩との関わり方を学びながら自分の知識や技術で曖昧なことを減らしていきたいです。ラダー制度は自分のレベルを客観的に見られるので、年齢とともにキャリアを重ねられることはもちろん、周囲からの評価も大きな自信につながっています。

竹内 理子

東病棟 6 階（心臓血管外科）
2021 年入職





Rookie Support

できることが増えていく。
新人看護師のそんな喜びを
支えていくのも
私たち看護師の役割です。

教育体制

研修責任者

新人研修プログラムの策定、企画・運営に対する指導・助言

教育委員会等

プログラムの企画・運営組織（委員会等）



各部署での新人研修の運営実地指導者へ
助言・指導。新人看護師の指導・評価

✎ 教育担当者

✎ 副看護師長・ラダーⅢ



新人看護師の臨床実施に関する実地指導・評価

✎ 実地指導者

✎ プリセプター



✎ 新人看護師

✎ 1部署2～5名程度の配置

新人看護師 研修でしっかり学び、先輩のサポートのもと安心して実践へ。

西病棟 11 階（血液・膠原病内科）2024 年入職 瀬川 萌香

いろんな病院を見て検討したうえで、院内研修があることや教育体制が充実していることに惹かれて当院へ。実際に入職してから今までも様々な研修を受けています。1日のなかで、講義で知識を付けたあとにシミュレーション研修で技術の練習ができるので、研修を通して一つずつ正しい知識と技術を身につけることが

できています。また業務では常にプリセプターの先輩看護師とペアで動くのですが、どんな時でも話しやすい雰囲気を作ってくれ、いつ相談しても必ず手をとめて、目を見て話を聞いて下さります。そのため、大きな疑問や不安を感じたまま患者さんの所に行くことがなく安心して日々のケアができています。



プリセプター 先輩と一緒に成長しながら、頼れるプリセプターを目指して。

西病棟 11 階（血液内科・膠原病内科）2016 年入職 松下 沙代

プリセプターは教える立場にあるものの、私自身も今の科へ異動して間もないため、まだまだ知識が浅く勉強不足な部分もあり、分からないことは新人看護師と一緒に確認して、勉強しながら共に成長を目指しています。私が新人の時はプリセプターの先輩がいてくれるだけで安心感があったので、私も新人看護師にとって

同じような存在でありたいと思う毎日です。後輩と接する時はいつでも相談しやすい雰囲気を作ったり、分からないことがないかその都度確認したりを心がけています。またプリセプターの研修もあるため、プリセプター同士で話し合い、教え方などを気軽に相談できるのもありがたい環境です。



新人看護師の1日スケジュール

8:00 出勤

8:30 申し送り

出勤後は夜勤の看護師からの申し送りから。夜間の状態を把握し、繋がりのある看護を提供できるよう、情報を漏らさず受け取ります。



9:30 日勤業務

PNSのペア看護師と今日の受け持ち患者様の確認をしたら、ラウンドへ。朝の挨拶と検温や清潔ケア、食事介助、会話を通して患者さんの状況を確認します。

13:30 カンファレンス

カンファレンスは病棟全体の患者状況を把握するための重要な時間です。また、業務の偏りや残業を防ぐため、リシャッフルで業務量の調整をします。



リシャッフル

その日のチームリーダーを中心に、患者さんの状態や残務の状況を整理、業務が偏らないようチームやペア間で業務調整（リシャッフル）を行います。

14:30 検査介助

14:00 日勤業務

手術・検査前後の患者様のケアや、処置・検査・治療の介助、検査室や手術室への送迎など。患者様に寄り添いながらスムーズに治療へ進んでいただくための動きを心がけています。

休憩



16:45 退勤

MOVIEで見る



1 週間の勤務モデル

12時間夜勤の場合

月	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
火																									
水																									
木																									
金																									
土																									
日																									

16時間夜勤の場合

月	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
火																									
水																									
木																									
金																									
土																									
日																									

看護師長からのメッセージ

みんなが働きやすく、患者とより向き合える環境を作るのが仕事。

西病棟 11 階（血液内科・膠原病内科）2001 年入職 北島 ちひろ

看護師長となり3年目、部署の人材育成や労務管理など、責任者として日々スタッフとともに奮闘しています。患者さんに最善のケアが届いているか、看護師がケアをできているか。とにかく気を配らせながら、看護師たちが働きやすい環境を作るのが

私の仕事です。新人看護師、プリセプターともに経験や年齢は違えど、「伴走者」として、お互いが思いやりをもって、活き活きと働ける職場が目標。自由に意見を述べ合いながら、みんなで何かを創り上げていくことを大切にしたいです。





Specialist & Generalist

もっと深く、もっと広く、看護の力を届けるために。
そんな想いを胸に秘めた
活躍する先輩たちの姿がここにあります。



摂食・嚥下障害看護 認定看護師

東病棟 11 階（呼吸器内科）2008 年入職
稲本 知代

摂食・嚥下障害という分野を選んだのは、「辛い入院生活の中で少しでも笑顔になれる支援をしたい」という思いから。最近は院内へ入院時の嚥下スクリーニングの導入も拡大させ、食事支援に向けての活動を多職種とも協働し広めています。



急性・重症患者看護 専門看護師

西病棟 6 階（ICU）2008 年入職
片岡 早希子

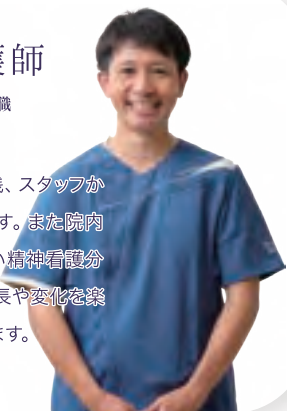
ICUでは、患者さんへの直接実践・看護ケアに関する相談・医療チームメンバーや状況の調整・倫理調整・部署の看護師に対する教育に携わっています。患者さんやご家族、医療従事者と共に悩み、対話していけるよう専門性を高めています。



精神看護専門看護師

西病棟 2 階（神経精神科）2008 年入職
荻堂 盛大

専門看護師として、患者さんへの実践、スタッフからの相談、教育の役割を担っています。また院内研修担当もしています。目にみえない精神看護分野のなかで、患者さんやスタッフの成長や変化を楽しむに日々看護実践に取り組んでいます。



専門性を深めたい、
看護の幅を広げたい、
人を育てていきたい。

看護師として、
あなたが目指す姿は？

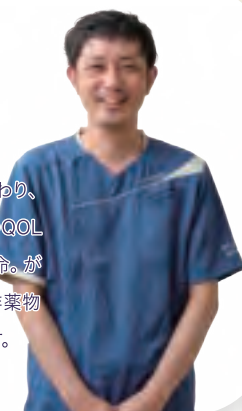
様々な思いを持った看護師たちが、支えあい、補い合って「熊大病院の看護」をつくっています。



緩和ケア認定看護師

緩和ケアセンター 2016 年入職
内田 新

多職種との連携をしながら症状の緩和に携わり、看護師としての立場から患者さんやご家族のQOLを少しでも高められるように努めるのが使命。がん患者さんの消化器症状緩和に対するの非薬物的介入に対する研究にも興味を持っています。



入職

当院で活躍している専門・認定看護師

専門看護師

がん看護 / 精神看護 / 急性・重症患者看護

認定看護師

皮膚・排泄ケア / 不妊症看護 / 感染管理 / がん化学療法 / 緩和ケア / がん性疼痛看護 / 集中ケア / 救急看護 / 手術看護 / 認知症看護 / 摂食嚥下看護

当院で活躍している特定行為研修修了看護師

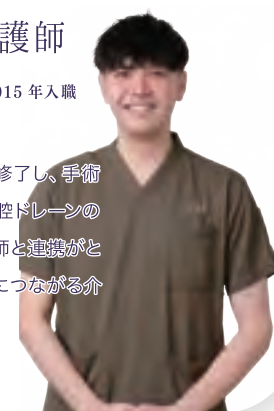
外科術後病棟管理領域
術中麻酔管理領域



特定行為研修修了看護師

東病棟 11 階（呼吸器外科・移植外科）2015 年入職
一水 翔太

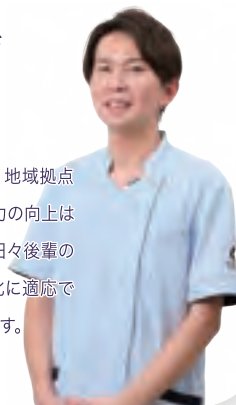
外科術後病棟管理領域パッケージを修了し、手術前の前の患者さんの胸腔ドレーンや腹腔ドレーンの抜去などのケアを実践しています。医師と連携がとりやすくなり、患者さんの回復の促進につながる介入はやりがいを感じます。



ジェネラリスト看護師

東病棟 4 階（消化器外科）2014 年入職
黒木 竜二

看護師キャリア支援事業研修の一期生として、地域拠点病院で従事してきました。自身の看護実践能力の向上はもちろん、病棟マネジメントについても学び、日々後輩の育成や業務内容の見直しを行いながら、「変化に適應できる組織作り」の一端を担えればと考えています。



ジェネラリスト看護師

西病棟 4 階（消化器外科・腎臓内科）2012 年入職
鎌田 恵美

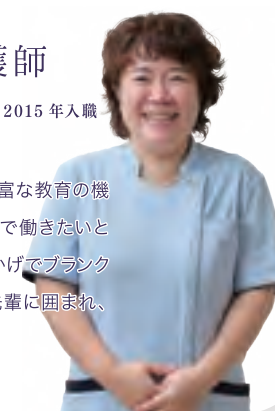
県外から転職で当院へ。中途採用でも丁寧な研修があり、安心して現場へ入ることができました。忙しいなかでも楽しく仕事できるような雰囲気づくりを大切に、患者さんのより良い看護が提供できるように努めています。



ジェネラリスト看護師

西病棟 5 階（脳神経外科・画像診断科）2015 年入職
木野 真由

関東の私立大学病院に勤めた後、豊富な教育の機会と、最先端の医療提供のある環境で働きたいと思い入職。育児休暇明けも研修のおかげでブランクの不安がなくなりました。やさしい先輩に囲まれ、学びを深める毎日です。





Team Medicine

一本のバトンをつなぐように
さまざまな専門家たちの想いがつながれば、
もっと大きな力に。私たちは「チーム医療」にも
積極的に取り組んでいます。

心臓血管センター

主に心不全患者様の疾病管理やセルフケアに関する指導を行うとともに、家族へのサポートや在宅復帰のための支援を行っています。センター内では診療方針検討のためのカンファレンスを定期的開催するほか、植え込み型補助人工心臓を導入された方の管理も実施。高齢化社会を迎え、心不全患者様の急増が予想される現在、心疾患での再入院を予防するために大切な役割を担っています。



教授・診療科長
辻田 賢一

治療に対する患者様のモチベーションは看護師によって大きな影響を受けます。だからこそ心臓血管センターでは主治医・主看護師が積極的な議論を交わせる環境をつくることが目標。時に議論がぶつかりあうことも歓迎できるような熱い職場が理想です。



看護師

谷口 あゆみ 2007 年入職

ベッドサイドが仕事の私たちは、患者さんといろいろな話をできるチャンスがあります。残りの人生の過ごし方を一緒に考えたり、医師には言えなかった本音を耳を傾けたり。それらをただ聞くだけでなく、必要な人と共有し、より良い医療や看護につなげていく。それがチーム医療の中で看護師が発揮できる大きな力のひとつだと思います。もちろんその他の業務があり、どんなときでも患者さんと話をする余裕を持てるわけではありません。それでも少しでも多くの時間を患者さんと向き合えるように、業務効率の改善を図りながら、もっと看護スタッフが患者さんと近くなれる環境づくりに取り組んでいます。



医療の質・安全管理部

熊本大学病院の医療の質向上と、患者安全のために活動する専門チーム。各病棟から報告されたインシデントレポートを分析し、そこから見えた要因に対して新たなルールづくりやカルテシステムの改良などを行っています。医師、看護師をはじめ、メンバーはそれぞれの専門領域で活躍しており、院内のあらゆる部署からの相談に対して多岐にわたって意見を交換しています。



医師
近本 亮

病院を良くするための処方箋とも言える「インシデントレポート」を提出するのは、大半が看護師さん。いつも患者さんに寄り添い、間近で関わっている看護師さんならではの視点が、より良い病院づくりに大きな役割を果たしています。

看護師

森山 嘉子 [看護師長] 2006 年入職

他職種(医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床心理士、事務員)が集まり、ケアとキュア、そのどちらの質も高めるために活動しているのが、私たち「医療の質・安全管理部」です。部署の名前に「管理」とついていますが、私たちは一方的に指導、管理するのではなく、現場と一緒に医療をよくしていく仲間。どのようにすれば患者さんや医療スタッフ間でスムーズなコミュニケーションが取れるのか。ミスの起こらない環境をつくれるのか。現場の声に耳を傾けながら、医療スタッフが働きやすく、患者さんが安心できる環境をつくるのが役割です。



栄養サポートチーム(NST)	感染制御チーム	精神科リエゾンチーム	臨床コンサルテーションチーム
緩和ケアチーム	褥瘡対策チーム	心臓血管ケアチーム(CCT)	地域医療連携

この他にもたくさんの職種が患者様・ご家族を中心に連携しています。



Welfare

ライフステージに合わせた働き方で 看護師として長く活躍できる場

東・西病棟3階(混合病棟)2019 年入職 齊藤 優

現在、3歳の子どもの育てながら勤務しています。当院には院内保育園もあり、職場には夜勤をしながら子どもを預けているママ看護師も。産休や育休制度などの福利厚生が充実しているため、妊娠や出産によって今後のキャリア形成に不安をもつことなく休暇を取れたのはありがたかったです。熊本は自然に恵まれる一方で、中心部は栄えていて暮らしやすく、子育て世帯にもおすすめの街。休みの日は子どもと出かけたり、教育に時間を注いだり家族の協力のもとワークライフバランスを実現できています。



中心市街地まで
徒歩10分のロケーション



看護師寮

安全で快適な住環境が特長の看護師寮。毎日のお買い物、食事や映画鑑賞など、お出かけも気軽に楽しめます。

また、病院の敷地内にあるため、安全で通勤の負担もありません。トレーニングルームや図書室兼研究室の利用も可能です。

保育所

院内保育所

当院では産休・育児休暇を取得した方の復帰をサポートするために、2013年に院内保育園を開園。お子さまが安全・快適に過ごせる万全の体制で取り組んでいます。

対象年齢	生後8週間～2歳(一時預かり/小学校就学までの乳幼児)
保育時間	7:00～19:00(延長/19:00～22:00)
夜間保育時間	15:00～翌朝10:00(火・金のみ)



子どもと一緒に成長できる支援

学内保育園「こばと保育園」

学内保育園「こばと保育園」は人格形成の基礎を育む大切な時期をのびのびと過ごせるよう、アットホームな雰囲気の中、お子さまの個性と自主性を尊重した、一人ひとりの心に寄り添う保育を心がけ、お子さまの成長を見守ります。

対象年齢	生後8週間～小学校就学までの乳幼児
保育時間：月～金	7:10～18:00(延長/18:00～20:00)

病児保育室

対象年齢	生後6か月～小学6年生
保育時間：月～金	7:00～18:00

育児休業復帰支援プログラム

出産・育児で休業された方が安心してスムーズに職場復帰できるように、支援プログラムを設けています。

最近の病院・看護部の新システムの説明
採血・静脈注射(IVナース取得者対象)研修
シミュレーション研修(輸液ポンプ、吸引、導尿技術など)